



特定非営利活動法人アスクネット

2020年度 年次報告書

# 年表

## 法人年表

1999年  
愛知私学教育ネットとして事業開始

2001年  
愛知市民教育ネットに改名  
特定非営利活動法人  
(NPO法人) 格取得

2003年  
経済産業省  
市民活動活性化モデル事業  
高校生のための情報誌『S-ch.001』  
(後の『Schan』) 創刊  
※現在休刊中

2006年  
アスクネットに改名

2015年  
第5回キャリア教育アワード経済産業  
大臣賞受賞

2017年  
5カ年の中期ビジョン開始

## 事業年表

1999年 教育イベント支援スタート

2000年 愛知私学関連事業開始

2001年 市民講師ナビ事業開始

2004年 文部科学省 地域子ども教室推進事業(安城まちの学校)

2005年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」  
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト  
(瀬戸キャリア教育) (再委託)

2006年 教育CSR事業開始  
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」  
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト  
(大学生実践型インターンシップ)  
高浜市「たかはま夢・未来塾」

2008年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター  
育成・評価システム開発事業(中核コーディネーター)

2009年 経済産業省  
キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業  
(研修プログラム作成・実証事業)  
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業

2010年 高校生公募型「マイチャレンジインターンシップ」開始  
内閣府 地域社会雇用創造事業  
ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト

2014年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業

2015年 高浜市 学習支援事業  
安城市 健康都市推進アクションプラン

2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業  
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業

2017年 大府市 大府市学習支援コーディネート事業  
岐阜県 池田町 コーディネーター事業

2018年 教育関係者向け研修会「ENGINE」開催  
次世代リーダー育成プログラム「アスキミキャンプ」実施

2019年 私立高校探究プログラム 開始  
名古屋市 高校生世代に対する学習・相談支援事業

2020年 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始

# 事業戦略（ミッション、事業一覧）

## -アスクネットの使命・ミッション-

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「**学び合い育ち合う共同体づくり**」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

## -事業一覧-

対象者	事業内容	企業数	学校数	参加人数	その他	対象事業名
小学生	環境学習	11社	23校	1,745人		教育CSR事業
小・中学生	ものづくり講座	16事業所	48校	3,003人	愛知県内全域	モノづくり魂浸透事業
小・中・高校生	社会人講話	117名 (講師)	20校	6,312人		市民講師ナビ事業
中・高・大学生	学習支援 (小・中・高)			106人	高浜市と大府市の 学習支援事業合計	学習支援事業
	学習支援ボランティア (高校・大学生)			99人		
中・高校生	相談支援			932人		名古屋市学習支援コーディネート事業
高校生	インターンシップ	のべ 570事業所	28校	2,442人	学校独自型28校 (私立12校 公立16校)	市民講師ナビ事業 キャリア教育コーディネーター活用事業
大学生	社会人講話		2校	180人	キャリアデザインなど	市民講師ナビ事業
教員	教員研修会		19校	317人	キャリア教育推進	キャリア教育コーディネーター活用事業
一般市民	認定キャリア教育コーディネーター育成講座			24人	類計159名(2010年より)	キャリア教育コーディネーター育成事業
	安城市SDGs 未来会議 他			126人		安城市SDGs 未来会議 事業

※2020年度はその他の事業は実施していません。

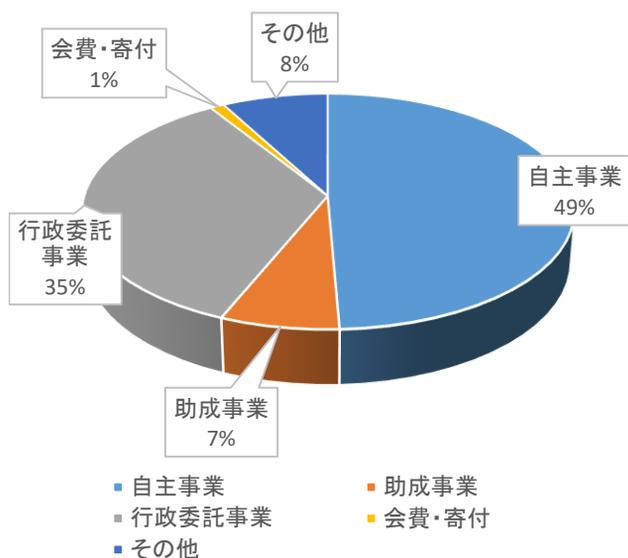
# 事業概況

## - 2020年度事業決算 -

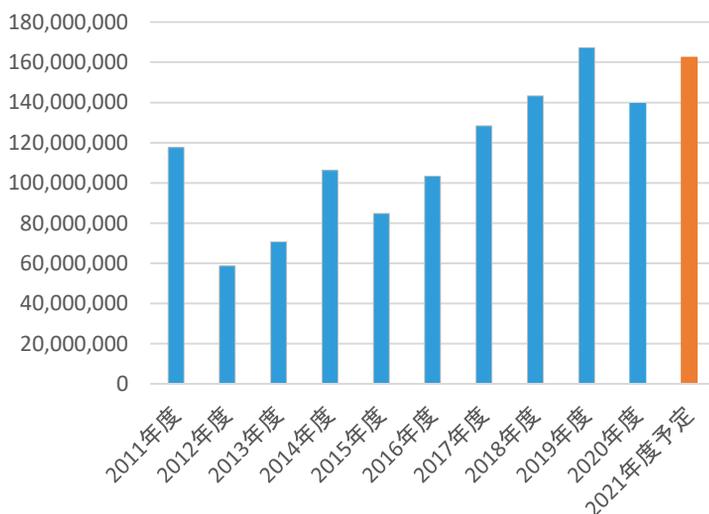
4ページ	市民講師ナビ事業	自主事業	約 5,696万円
5ページ	教育CSR推進事業	自主事業	約 753万円
6ページ	キャリア教育コーディネーター育成事業	自主事業	約 235万円
	教育団体協働事業	自主事業	約 34万円
7ページ	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	自主事業	約 165万円
8ページ	SPIRAL事業	助成事業	約 802万円
9ページ	学習支援事業（外国籍学習支援）	助成事業	約 174万円
10ページ	学習支援事業（高浜市委託事業）	行政委託事業	約 1,660万円
12ページ	学習支援事業（大府市委託事業）	行政委託事業	約 757万円
13ページ	学習支援コーディネート事業（名古屋市委託事業）	行政委託事業	約 479万円
14ページ	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知県委託事業）	行政委託事業	約 1,134万円
15ページ	モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）	行政委託事業	約 386万円
	安城市SDGs未来会議事業	行政委託事業	約 396万円
	名古屋市高校生巡回支援事業	行政委託事業	約 43万円
	会費	会費	約 106万円
	寄付	寄付	約 41万円
	雑収入	雑収入	約 669万円
	その他	その他	約 434万円

計 約 13,954万円

## - 事業財源内訳 -



## - 事業規模推移 -



# -市民講師ナビ-

新型コロナウイルスの影響により、事業として大きく変化した1年であった。

例年はインターンシップを夏休み期間に実施している学校が多かったが、感染防止の観点からプログラムの実施時期を慎重に判断しながらのコーディネートとなった。いくつかの学校でプログラムの実施が見送られることとなったが、時期をずらしたり、プログラム内容を修正したりしながら、延べ32校でプログラムを実施することができた。

私立高等学校インターンシップ実施状況

**12校 1,144名**の生徒が  
インターンシップ体験活動を実施

【2020年度実施校】

愛知黎明高校、市邨高校、誠信高校、同朋高校、高蔵高校、  
南山高校女子部、椋山女学園高校、東海学園高校、豊川高校、  
安城学園高校、豊橋中央高校、黄柳野高校、（計12校）



- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- 探究講座×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等



小学校～高校における社会人講座実施状況

**20校 延べ6,312名**の生徒が  
社会人講座を受講  
**延べ117名**の講師が講座実施

- 定番の職業講話やマナー講座も継続実施
- 探究学習のニーズが社会人講座でも生まれた
- コロナ禍でも実現可能な講座としてオンライン講座などの新たなプログラムも開発された



プログラム体験生徒や実施校が増えてきており、新学習指導要領の導入に伴いキャリア教育プログラムの相談も多々ある中で新型コロナウイルスは、本事業に大きな影響をもたらした。プログラム実施ができなくなってしまったというネガティブな面もあったが、オンラインを活用したプログラムの開発など、このコロナ禍だからこそ生まれたプログラムもあった。臨機応変にプログラムを構築することができるコーディネーターの必要性を痛感した1年であった。

# -教育CSR推進事業-

企業が学校教育に主体的に関わり、児童の成長のみならず、事業効果を生み出し、積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。2020年度は、コロナ禍においても、2006年度から継承している「アイシン環境学習プログラム」の学びを止めないため、「リモートオンライン」での講座やエコトークセッション（発表会）を実施し、関係講師、実施校教員とともに持続可能な環境学習の有り方を創り上げた。

環境学習（2020年度）

23校 1,745名 の児童に  
年間プログラムを実施

- 行政とも連携し、アイシングループ・11社の事業所のある13市町で実施
- 近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる
- 小学4～5年生を対象に森・水辺・くらし・産業からテーマを選定

## ■支援企業一覧

アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、  
アイシン化工株式会社、  
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、  
アイシン開発株式会社、アイシン機工株式会社、  
アイシン辰栄株式会社、豊生ブレーキ工業株式会社、  
株式会社アドヴィックス、シロキ工業株式会社、  
アート金属工業株式会社



※上2枚は学校ウェブサイトより引用。



新型コロナウイルス感染症対策のため、これまで対面で実施していた、各講座をリモートオンライン形式に変えて実施した。コロナ禍において、学校との関わり方を変えたことにより、プログラム展開の新たな可能性の発見につながった。

# -キャリア教育コーディネーター育成事業-

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施した。学校や児童生徒の状況も理解し、教員と共に学びのねらいを考えた上で、効果的なプログラムを学校に提供するために、座学と実践の両面から研修を実施している。

2020年度受講者

エントリーコース受講者 **24** 名 (名古屋14名・静岡10名)

実践コース受講者 **19** 名 (名古屋12名・静岡7名)

## ■キャリア教育基礎講座 兼 育成研修説明会

- 第1回：学力テストでは測れない「非認知能力」が子どもを伸ばす
  - 第2回：これからのキャリア教育  
～学校教育とキャリア教育コーディネーターの在り方～
- ※いずれもオンライン開催



## ■エントリーコース (4日間にわたる座学研修)

- 第1回：キャリア教育コーディネーター概論
- 第2回：学校組織・子どもの現状
- 第3回：地域で行うキャリア教育・教育行政
- 第4回：プロジェクトマネジメント・プログラム開発・教育CSR



## ■実践コース

小学校1校、中学校2校、高等学校2校 計5校の協力校において、職業講話のコーディネートを実践。



2010年より、育成講座受講者数  
累計

**159** 名      キャリア教育の理解・普及に貢献している。

今年度のキャリア教育コーディネーター育成研修は、例年開催している名古屋会場に加え、静岡会場でも初めて実施した。名古屋会場は、兵庫や大阪など遠方からの受講者も含め、参加意欲が非常に高い受講者が集まった。静岡会場は、すでに教育現場で実践を行っている受講生が多く、相互に実践事例の共有などをおこない、学び合いの場を作った。2020年度は、コロナ禍において実践コースが無事に実施できるかの懸念があったが、オンラインや講座形式の工夫などを行うことにより、すべての協力校で講座の実施をすることができ、学校からの評価も概ね良かった。

# -出会いと挑戦の教育普及啓発事業- (池田町キャリア教育コーディネーター)

アスクネットにて育成講座を受講した岐阜県揖斐郡池田町のキャリア教育コーディネーター2名が中心となり、池田中学校における社会人講師講座を実施した。

## ■「池中15のREAL」

池田中学校の教育目標である「志をもって未来を切り拓け」に基づき、夢や志をもった大人との出会い（対話）が、自らの将来の夢や目標につながるよう、平成29年度から実施している。池田町が目指す「キャリア教育の充実」のひとつとして、将来地元で働くという選択肢が1つでも多く生まれるように、「働く大人の思いに触れる機会」を創出することを目的とした。

## ■参加生徒

池田中学校3年生225名

## ■講師

池田町在住の講師を含む15名

新聞記者、保育士、看護師、弁護士、アナウンサー、建築家、薬剤師、地域おこし協力隊隊員など



## ■「7物語」

キャリア教育を地域と連携して推進している池田中学校では、1年生に「社会にふれる」を年間テーマとし、国際理解や地域調べ、職業調べの学習を行っていることから、国際理解の一環として、今年度新たなプログラムを実施した。本プログラムは、身近な外国出身者から出身国の様子を聞くことで、外国への理解を深めるとともに、多様な文化や社会に触れる機会とした。さらに、日本に在住する経緯を知ること、自らのキャリア設計を考えるきっかけとすることや、外国出身者の視点から池田町（周辺地域を含む）の魅力を知ること、自らが生活する町（地域）を見直すとともに、故郷を大切にする資質を養うことも目的とした。

## ■参加生徒

池田中学校1年生250名

## ■講師

外国籍の講師8名

アメリカ、チェコ、ネパール、フランス、ベトナム



今年度は例年取り組んでいる「池中15のREAL」に加えて、新たなプログラムとなる「7物語」の2つの社会人講師講座を実施した。

本事業を通して、参加生徒が自身の将来を考えるためのキャリア教育の一環としてはもちろんのこと、池田町の魅力について多角的に再認識する機会となった。

# -SPIRAL事業-

2020年度より、一般財団法人三菱みらい育成財団の助成を受け、高校生の探究プログラム「SPIRAL」を実施。医療・農業・国際交流・伝統産業・IT・地球環境・フェアトレード・アート・映像・社会福祉の10分野に関して、「2030年の未来」をより良くするための探究活動をおこなう高校生を公募。約5ヶ月間の探究活動をおこなった。

SPIRALに参加した高校生は、フィールドワークやアンケート調査、インタビュー調査等どのような社会課題があるのかを洗い出し、仲間と話し合い、解決策を導き出した。

## ■SPIRALプログラム参加者

Challengers Forum（社会課題に向き合う大人との出会い）

: **121**名

Challengers Labo キックオフミーティング

: **48**名

Challengers Labo 中間研修

: **45**名

Challengers Competition（最終発表会）

: **78**名

※いずれもZOOM参加者を除く

## ■Challengers Labo参加高校生 所属校

<私立>

愛知高等学校／安城学園高等学校／東邦高等学校  
名古屋経済大学市邨高等学校／南山高等学校男子部・女子部  
日本航空高等学校 通信制課程／光ヶ丘女子高等学校

<公立>

愛知商業高等学校／阿久比高等学校／安城農林高等学校／  
石川工業高等専門学校春日井東高等学校／刈谷高等学校／  
刈谷北高等学校／瑞陵高等学校／千種高等学校／  
筑波大学附属坂戸高等学校／日進西高等学校／豊野高等学校／横須賀高等学校



2020年度より始まった新事業「SPIRAL」。高校生は、「実社会で起こっている社会課題」という正解のない問いに対して、様々な方と関わり、試行錯誤しながら自分なりの答えを導き出した。これこそ主体的、対話的で深い学びの体現であり、「探究学習」そのものであると考える。

2020年度のSPIRALは一応の区切りをつけたが、有松絞の商品開発や、学校給食の廃棄食材の有効活用など、プロジェクトを継続するチームも見られる。

このような若者や学びやチャレンジを、今後も応援していきたい。

# -学習支援事業（外国籍学習支援）-

「公益財団法人パブリックリソース財団」の「J-Coin基金（第2回公募）」の助成金を活用し、高浜市に在住する生活困窮世帯に属し、外国にルーツを持つ児童・生徒を対象とした学習支援「たかはまがくしゅうサポート」を実施した。小学1年生から中学3年生を対象とし、毎週火曜日（16:00～20:00）に学習支援教室を開催し、中国、フィリピン、ブラジルなど、様々な国にルーツを持つ子どもが参加した。大学生を中心とした学習支援ボランティアと連携し、学校の宿題や自主学習のサポートを行い、集団指導では見逃されがちな児童生徒への学習支援を行った。

## 【たかはまがくしゅうサポート】

2020年度

**29**回 **11**名の小学生が  
学習支援教室に利用登録

### ■参加児童

・のべ**200名**の児童が参加

・1回あたり約**6.9名**

### ■学習支援ボランティア

・学習支援ボランティアの活動者数**32名**

・参加人数のべ**67名**

・1回あたり約**2.3名**



高浜市で実施してる「ステップ」「ステップ・ジュニア」に外国籍の参加者が増えてきたことを受け、生活困窮世帯の外国籍児童・生徒に対する支援の必要性を感じ、2020年度に新たな事業として実施した。

運営には「公益財団法人パブリックリソース財団」の「J-Coin基金（第2回公募）」の助成金を活用し、市内在住の外国にルーツを持つ小学1年生から中学3年生を対象に、学校の宿題のサポートや自主学習の支援を中心に行った。市内小中学校にも協力をいただき、対象児童生徒の募集も連携することができた。活動には「ステップ」で活動をする学習支援ボランティアも参加し、参加児童・生徒に対し、個別にきめ細やかな支援を行った。高校入試を控えた中学3年生には作文や面接練習も行い、日本語に不安がある生徒のサポートを行った。

今後は市内の小中学校の協力も得ながらニーズを調査し、活動の展開を検討していく。

# -学習支援事業（高浜市委託事業）-

高浜市在住の生活困窮世帯に属する小学生を対象とした学習等支援事業「ステップ・ジュニア」、中学生・高校生を対象とした学習等支援事業「ステップ」を実施している。対象児童・生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い児童・生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、ステップ・ジュニアは毎週木曜日と土曜日に、ステップは毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を開催している。ステップ・ジュニアでは児童の学習支援は地域支援員と高校生ボランティアが主に行い、宿題等を取り組む“学習タイム”と、楽しみながら学べる“講座タイム”を実施。ステップでは生徒の学習支援は大学生ボランティアが主に行い、学習の支援と、生徒のキャリア支援のため、月1回程度、社会人や大学生による講座を行っている。また、土曜日や長期休暇中の実施日は、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策として、学校休校中はオンライン支援や教材郵送等を行い、学校再開後から現在は、参加時間の分散、マスク・検温・消毒等の徹底を行い、感染対策に留意しながら実施している。

【ステップ】 ※写真は過去の活動写真を含みます。

2020年度

**51回** **39名**の中・高生が

学習支援教室に利用登録

■参加生徒

・のべ**839名**の生徒が参加

・1回あたり約**16.5名**

■昼食支援

・利用生徒延べ**477名**

・1回あたり約**11.3名**

・登録支援団体**15団体**

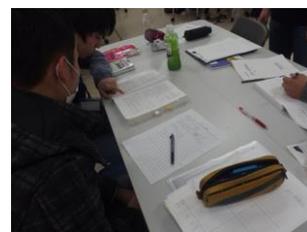
■学習支援ボランティア

・学習支援ボランティアの活動者数**32名**

・参加人数のべ**422名**（見学・体験の数も含む）

・1回あたり約**8.3名**

・チャレンジサポーター研修3回実施



# -学習支援事業（高浜市委託事業）-

【ステップ・ジュニア】 ※写真は過去の活動写真を含みます。

2020年度

**86回** **10名**の小学生が  
学習支援教室に利用登録

## ■参加児童

・延べ**454名**の児童が参加

・1回当たり約**5.3名**

## ■昼食支援

・利用児童延べ**204名**

・1回あたり約**5.0名**

## ■学習支援ボランティア

・高校生 学習支援ボランティアの参加人数**21名**

・参加人数延べ**93名**（見学・体験の数も含む）




高浜市学習等支援事業では、「ステップ」（中学生・高校生対象）と「ステップ・ジュニア」（小学校4～6年生）と、小学校から高校までの一貫した支援体制を構築している。2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでの活動を一部見直しながら運営を行った。特に学校休校中は、電話等の連絡、オンライン学習支援、自作教材の郵送など、可能な支援の形を模索しながら行った。学校再開後、ステップ・ジュニアでは、基礎学力の定着に向けて、計算プリントをみんなで進めたり、英語に関する講座を増やしたり、楽しく学ぶことができる環境作りに取り組んだ。ステップでは、キャリア教育講座の実施をオンラインで実施したり、講座の対象者を絞ることで蜜を避けながら、学習以外の支援も可能な範囲で実施した。昨年度に続き、チャレンジサポーターは、大学生を中心にしつつ、「ステップ」を卒業した社会人も参加しており、「支援される側から支援する側へ」という循環も生まれてきている。

# -学習支援事業（大府市委託事業）-

大府市の委託事業として中学生に対する学習支援事業を実施した。市内の4か所の公民館を会場として、約60名の登録生徒に対する支援を行った。大府市内外の地域スタッフが運営責任者として教室運営を行うとともに、自立化に向けて地域の実情に合わせたビジョンやミッションを話し合い構築した。

## ■実施回数

- ・横根公民館 41回
- ・東山公民館 41回
- ・長草公民館 41回
- ・森岡公民館 41回

合計 **164回**

## ■登録生徒数

- ・横根公民館 13名
- ・東山公民館 15名
- ・長草公民館 13名
- ・森岡公民館 16名

合計 **57名**

※途中利用停止者含む

## ■参加生徒 延べ人数

- ・横根公民館 212名
- ・東山公民館 328名
- ・長草公民館 278名
- ・森岡公民館 196名

合計 **1014名**

## ■学習サポーター

- ・学習サポーター **46名** (体験含む)

- ・各会場1回当たりの人数平均 **2.1名**

- ・延べ **352名**

## ■イベント

全公民館合計で **6回** 実施

コロナ禍の中で中々イベントを開催するのが難しかった。

ZOOMを活用し、オンラインで中学3年生向け高校進学に関する講座を開催した。

クリスマス会などは各公民館で、新型コロナウイルス感染症予防対策をしっかりと行い実施した。



今年度はコロナ禍で様々なことが変化した年だった。コロナの感染状況が悪化した時期は、実地での運営ではなく、ZOOMを使い、オンラインで運営を行うなど、新たな方法にも取り組んだ。4年目になり運営の体制やノウハウも蓄積されてきたが、世間の情勢を鑑み、イベント実施の回数は減少となった。そこで、オンラインを活用し、各館の様子が見れるような工夫を行った。学習サポーターの登録人数は、昨年度と比較すると減少となった。この原因として、大学の休校、不要不急の外出自粛などが上げられ、難しい運営状況の日もあった。学習サポーターは至学館大学の学生をはじめ、地元大府市内の大学生も参加してくれている。来年度は、今年度できなかった学習サポーター募集を行い、様々な大人と接する機会を提供したい。そして、参加してくれる子どもたちに学習する機会と、地域とつながり、安心安全の居場所を提供していく。また参加者拡大への取り組みも行っていく。

# －名古屋市学習支援コーディネーター事業－

(名古屋市委託事業)

2019年度に続き、家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。

また、「高校生世代に対する学習・相談支援事業」における、主に学習支援事業を利用したことがある高校生世代の生徒を対象に、進路や学校、家庭などの幅広い相談支援を行った。各学習支援会場をキャリア支援や相談支援の実績を持つ相談支援員が巡回し、各会場年間3回程度の相談支援を行った。

なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

## 学習支援受託業者27事業所

全**150**教室の生徒たちの運営に関するサポートおよびコーディネーションを実施

- 事業実施責任者 連絡会 2回
- 運営責任者 研修会 2回
- 学習サポーター 研修会 3回
- 学習サポーター 交流会 2回
- 事例報告会 1回



## 「高校生世代に対する学習・相談支援事業」

全**478**回、延べ**932**名の中学生・高校生に対する相談支援を実施

- 150会場のうち148会場で実施
- 面談実施人数 707名
- 針路探し講演会 2回
- 面談支援員 23名



2020年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施した。アスクネットは2019年度に引き続き、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ384名が参加した。講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置き、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン配信を行う等、研修の運営を行った。また、高校生世代への学習・相談支援事業では、23名の面談支援員が、合計478回の面談を実施し、延べ926名の中学生・高校生の相談支援を行った。

# 「キャリア教育コーディネーター活用事業」 (愛知県委託事業)

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校16校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「教員を対象としたキャリア教育に関する研修会等への講師派遣及び企画・運営支援」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

## ■事業の内容

### ＜インターンシップ等体験活動プログラム＞

県立高等学校16校をモデル校とし、インターンシップ等体験活動のコーディネートを実施

※2020年度モデル校：

守山高等学校、名古屋西高等学校、五条高等学校、横須賀高等学校、東浦高等学校、武豊高等学校、内海高等学校、高浜高等学校、加茂丘高等学校、足助高等学校、豊野高等学校、三好高等学校、知立東高等学校、碧南高等学校、蒲郡東高等学校、御津高等学校

### ＜教員研修＞

県立高等学校8校を指定校とし、各校にて研修会を実施

また普通科・総合学科の教員を主な対象とした研修会を2回実施

※2020年度指定校：

新川高等学校、緑丘高等学校、春日井東高等学校、国府高等学校、幸田高等学校、尾西高等学校、豊田東高等学校、豊丘高等学校



■モデル校の生徒 **1,298**名が  
1～5日間のインターンシップ等、体験活動に参加

■教員研修会として、計 **10**回 **317**名の  
県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進に  
つなげる目的で研修会を実施

今年度はインターンシップ等体験活動において、1000名以上の生徒に対してプログラムを実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、教育活動に制限が強られるなか、各校の状況やニーズに合わせてコーディネートをおこなった。高浜高等学校、三好高等学校、知立東高等学校においては、学年全員が動く大規模なプログラムとなった。また、豊野高等学校においては、「SDGs」をテーマとした探究学習に取り組んだ。受入先も213の事業所を開拓するなど、県内のキャリア教育推進に大きく寄与することができた。教員研修会では、教育活動に限ることなく各指定校が持つニーズに沿ったテーマを扱い、オンラインを活用したリモート形式での実施を含む計10回の研修会を実施した。

## ◆モノづくり魂浸透事業（愛知県委託事業）

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。2020年度に本県で開催する技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会に向けて、県内での技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣し、授業や課外活動等において実演披露やモノづくり体験、職業講話等を実施した。

2020年度 愛知県内の小・中学・特別支援学校

**48校3,003名**が、モノづくり講座に参加

### ■実施講座例

- ・自動車板金の「匠」とマイスプーン作り  
(トヨタ自動車株式会社 技能五輪世界大会「自動車板金」  
元世界チャンピオン)
- ・常滑焼で世界に一つだけのお茶碗を作ろう！  
(TOKONAME STORE 代表)

など



今年度は新型コロナウイルスの影響により職場体験や校外学習が中止になった学校が多く、講師を学校に招く出前講座の希望が高まり講座応募数は過去最高となった。参加児童生徒を対象に実施したアンケートでは「自分でも何か作りたい、もっと他に作ってみたいと思いましたか？」という質問に対し、「そう思う」と答えた小学生は92%、中学生は82%、特別支援学校の生徒も87%を超えていた。本事業によって参加者がモノづくりに興味を持ち、製作体験を通じ自分にも作れたという達成感を得ることで自己肯定感も養うことに繋がった。

## ◆弊社団体スタッフによる会議等対外活動実績

### ■ゲスト講師

中京大学 キャリア構想ケーススタディ ゲスト講師

愛知県立大学 教養教育科目「インターンシップ」 ゲスト講師（オンデマンド）

### ■講演・講師

愛知県社会福祉協議会 子どもの居場所、学習・生活支援のつどい in あいち コーディネーター

愛知県職員交流会 講師

瀬戸市教育委員会 地域学校協働活動推進員研修会及び連絡調整会議 研修講師

認定NPO法人カタリバ 全国高校生マイプロジェクトアワード 中部Summit ファシリテーター

認定NPO法人カタリバ 全国高校生マイプロジェクトアワード 全国Summit ファシリテーター

### ■委員

高浜市こども貧困対策会議 委員（高浜市福祉部）

高浜市立南中学校 学校関係者評価委員

### ■書籍発行

7人に1人の子どもが貧困 主体的な18歳を社会に送り出すための学校コーディネート5つの提言

---

団体名称 特定非営利活動法人アスクネット

所在地 〒 456-0006 愛知県名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

連絡先 Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567

代表理事 山本和男

スタッフ 菅原伸二 城取洋二 小柳真哉 肥田幹子 荒井直人 山田将人  
原さおり 加藤淳子 山地佳奈 佐々木愛理 桑原都糸子 安藤仁美  
櫛谷彩乃 大谷歩 山本夢 烏田萌音 中野仁美 国枝宣樹  
犬塚穂奈美 久世和賢 兼子榛奈 遠藤奈々美 森聡子 金子雄亮

地域スタッフ

(2021年4月入職)  
西井礼奈 高田郁弥

<https://asknet.org/>

---



ASK NET